

独立愚連隊 (1959)

メディア 映画

ジャンル 戦争

製作国 日本

色彩 B&W

時間 109分

初公開日 1959/10/06

【解説】

岡本喜八が助監督時代に書いた脚本を自ら監督し映画化。「戦争映画+西部劇」という、まったく新しいジャンルを切り拓いた。映画はヒットし、翌年には続編の「独立愚連隊西へ」が製作された。

第二次世界大戦末期の北支戦線。クズ兵士ばかりを集め危険な任務に当たらせる“独立愚連隊”と呼ばれる部隊に、従軍記者の荒木がやってくる。交戦中に中国人慰安婦と心中したという、見習士官のことを調べに来たという。実は荒木の正体は大久保元軍曹であり、彼こそ見習士官の実の兄であり、弟の死の真相を知るため戦地に赴いたのだった。死んだ慰安婦の妹から紙片を渡された大久保は、弟が上官の不正を部隊長に告発しようとして、その上官から逆に殺されたことを知る。

【クレジット】

監督 岡本喜八

製作 田中友幸

脚本 岡本喜八

撮影 逢沢譲

美術 阿久根巖

音楽 佐藤勝

出演 佐藤允

中谷一郎

鶴田浩二

上村幸之

三船敏郎

中丸忠雄

南道郎

瀬良明

上原美佐

雪村いづみ

中北千枝子

横山道代

塩沢とき

沢村いき雄

江原達怡

桐野洋雄

中山豊

山本廉

夏木陽介

荒木

石井軍曹

ヤン亜東

大久保

Toshiro Mifune 児玉大尉

橋本中尉

酒井曹長

山岡少尉

堺左千夫

ミッキー・カーティス Mickey Curtis

笠原健司

手塚茂夫